第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1101004

政策目標 4 <mark>うるおい・雄武</mark>	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 18 住環境の整備 単位施策 1 良好な住宅・宅地の供給	事 業 優 先 度	А	
事業名 雄武町快適住まいづくり促進事業	政策事務分類 見 直 し 年 度	1 単独自治事務(例規)	
事業期間 平成23年度~平成24年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体 雄武町 事業指標 新築及び改修戸数	関 係 課	#N/A #N/A	
事業目標 新築·改修 35戸/年	ハート・/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	関 係 例 規・法 令 名	1 ⇒	雄武町快適住まいづくり促進条例
住民協働	関係個別計画名		

11.20	加加						月 床 旧 別 引 凹 石			
		全	体	計	画	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		<u>_</u> 事		<u></u> 内	<u> </u>	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計	対し、 策を目	者世帯・子 住宅及び住 目的とし、住 一部を補助	子育て世帯 主環境の 主 宝建設及	及び高	ー 齢者等世帯に る定住への施 を行う世帯に資	7 78 17 1	7 75 17 1	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	快適住まいづくり支援 (社会資本整備総合交付金)	快適住まいづくり支援 (社会資本整備総合交付金)
画	平成2	23年度から	55ヶ年間							
内										
容										
=1	事	業費	(千円)		60,000	0	0	(20,000	40,000
計画	R+	国庫支			12,000				6,000	
画事	財 源 -	道支			(
業	内	地方			C					
費	訳	その			C					
只	п/\	一般!			48,000				14,000	
実	事		(千円)		87,095		0	(01,000	
績	財	国庫支			9,653				4,309	5,344
事	財 源 -	道支			(
業	内	地方								
費	訳	その 一般!			77.440				33,347	44,095
	(特別	ー 般り 定財源の詳 き資本整備約	詳細等)		77,442	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 補助金交付件数 63件	(実施内容等) 補助金交付件数 96件
関連事	OTLE	5.具个芷阴闷	o a X N 亚		価・実績】	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	新築 10件 中古住宅購入 4件 増改修工事 49件 子供加算 7件 認証材加算 4件 ※前年度評価結果	新築 5件 中古住宅購入 2件 増改修工事 89件 子供加算 2件 認証材加算 2件 ※前年度評価結果
項	<u> </u>	·₩₩₩₩₩	西田法	<i>F</i> -	英口捷				A一継続/現状維持	A-継続/現状維持
7		期総合計 (継続無)			度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	35戸	35戸
		(継続無し	رر		<u>度 達 成 率</u> 体 達 成 率	#DIV/U!	#DIV/U!		188% 63%	
					本 连 成 举 業進捗状況	0%	0%	0/	**************************************	☆☆☆☆
				于	不足が	1	I	ı		

丰業名 雄武町快適何	主まいつ	 びくり促進事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	町有施 <u>設整備室長</u> 建築係長	佐竹 邦夫 宇野 安久	平成24年度実施
	• ,_			■ 計Ш白 TF队有 城氏名	生業派長	上	平成25年度評価
事務事業の目的・内容					望ましい指標(目的達成状況を	ı	
生、何が(対象)】		町民			最も端的に表す理論上の成果指	利用者件数の維持	
	_				<u>標)</u> 指標(指標計算式/解説)	目標値及で	心里循幅
抱える課題やニーズは】		町民の定住対策としての住環境の整備			1	目標年度	平成24 年度
					∥ ■ 申請件数の実績	目標 値 実 績 値	35 <u>戸</u> 96 戸
どのような状態になることを 指したのか(意図)]		 町民の安心快適な住班	豊培の歴 伊		中間に致い大幅	達成度	274.3 %
		町 氏の女心 医過る住場	泉児の唯体		2	目標年度	
の結果、どのようなが	世甲 た					目標值	十段
「の結果、とのような」 現したいか】		 住環境整備により定住	上環境整備により定住を促進し、活力あるまちづくりを推進する。			実 績 値	
或果=目的						達 成 度	#DIV/0! %
		分 分 分 大 大 大 の の 大 の の の の の の の の の の の の の	+ 今の洋田	国土太海少記等の社会次士並は	世級人六八个市坐し ァ 六八〇/	D道】た図し 町Rに共 古来の並	
		社会資本整備総合交付	り並の沿川	国工文通名所官の任芸貞本登録	開応ロ义判立事未とし(、父判金0	D導入を図り、町民に対し事業の普別	又で凶づた。
容(どのような手段で	で何を						
ったか】							
					AD A 57 (m. F		
事務事業の評価(Ch)事務事業の必要性(ーズ ・社会情勢に昭ら	して妥当か 町が担う必要か	「あるか。当該事業を実施しない場合	■総合評価【A~D】 A·計画通り事業が進んでし	い る。目標が達成された。今後も計画道	踊り事業を進めることが適当 等
		重複や見直しによる対応	芯可能性)		B:ほぼ計画どおりに進んて	ごいるが目標を達成していない。事業の	の進め方に改善が必要 等
必要		義務的なもの	町民の定住対策として、住 対し、一部支援することは「	環境の安定及び向上のための整備に		ていない。事業規模、内容、実施主体等 <u>ハ。事業の統合、休・廃止の検討が必</u>	
受/概ね必要		全部			自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
題あり		一部			l A		
		る効果が得られたか)			定住対策としての居住の安		
有効 <mark> </mark>		目標値の達成状況		いては、事業として成果が得られてい	定・向上への支援について は、新築件数の増加、既存		
 <mark>√概ね有効</mark>		<u>達成</u> ほぼ達成	る。		住宅の改修や流通促進など		
題あり		下回る			の施策効果がみられ、今後においても東端を進めること		
事務事業の効率性の	ンストに	- - 見合った効果が得られ	したか、計画上のコストを下げ	うる工夫をしたか)	「においても事業を進めること」 が適当と判断する		
	*	判断の理由	当事業により、町民の居住	の安定が図られたことは効率的と判断] [
効率的		事業費抑制 人員削減	<mark>_</mark> する。		今後の展開方向		
図的/概ね効 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の		時間短縮・作業軽減			(Action)		
/課題あり		その他					
事務事業の公平性					継続/現状維持		
₩		判断の理由 桑女老色担がまる		ための住環境整備への支援策による	町民が行う住環境の整備に対し一部を補助する事業に		
公平		受益者負担がある 受益者負担がない	定住対策が図られたことは	よな子 じめる	対し一部を補助する事業に ついては、居住の安定・向上		
/概ね公平		受益が一部に偏る			による定住対策として必要で	:	
平でない	✓	その他			あり、継続、現状維持が適当		
の他特記事項(アン	ノケート	調査など外部評価を受	けた場合は、その旨記入)		である。		
	, I H		THE MENT CAN PROPERTY				
					※展開方向の区分		<u> </u>
					┃ ┃ 〇継続/現状維持又は ┃ 〇終了 〇休止	は拡充又は縮小又は統合又は内容(○廃止	ル見 直し⁺変更